

平成29年度 広島県央商工会 経営発達支援事業

地域経済動向調査

(平成29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業)

調査報告書

平成30年2月

広島県央商工会

株式会社エブリプラン



目次

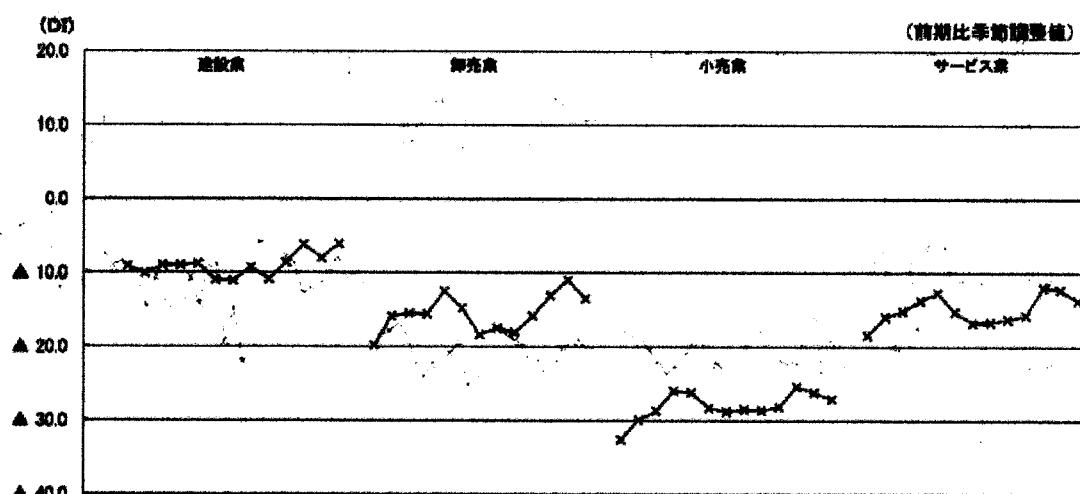
1. 全国連中小企業景況調査.....	- 1 -
2. 広島県経済動向調査.....	- 3 -
3. 東広島市統計調査.....	- 5 -
(1) 地区別人口の推移.....	- 5 -
(2) 地区別の年齢区分別人口	- 6 -
(3) 自然動態	- 8 -
(4) 社会動態	- 10 -
4. 決算書による個別事業所調査.....	- 12 -
(1) 経営者アンケート.....	- 12 -
(2) 決算書による県央地域における中小企業の業況.....	- 13 -
5. 県央地域における景況調査のとりまとめ.....	- 16 -
6. 地域ヒアリング調査.....	- 17 -
(1) 調査概要.....	- 17 -
(2) 調査結果.....	- 18 -
7. 地域ヒアリング調査のとりまとめ	- 31 -
(1) アンケート結果（移住について）	- 31 -
(2) アンケート結果（創業意識について）	- 31 -
8. 次年度へ向けて	- 32 -
(1) 県央地域における景況調査結果より	- 32 -
(2) 地域ヒアリング調査結果より	- 32 -

1. 全国連中小企業景況調査

中小企業の業況は、一部業種は持ち直しているものの、その他業種に足踏みがみられる。

- ・非製造業の業況判断DIは、▲16.6（前期差0.7ポイント減）とマイナス幅がやや拡大した。
- ・産業別では、建設業で▲6.1（前期差1.9ポイント増）とマイナス幅が縮小し、卸売業で▲13.5（前期差2.5ポイント減）、サービス業で▲19.8（前期差1.5ポイント減）、小売業で▲27.1（前期差0.9ポイント減）とマイナス幅が拡大した。

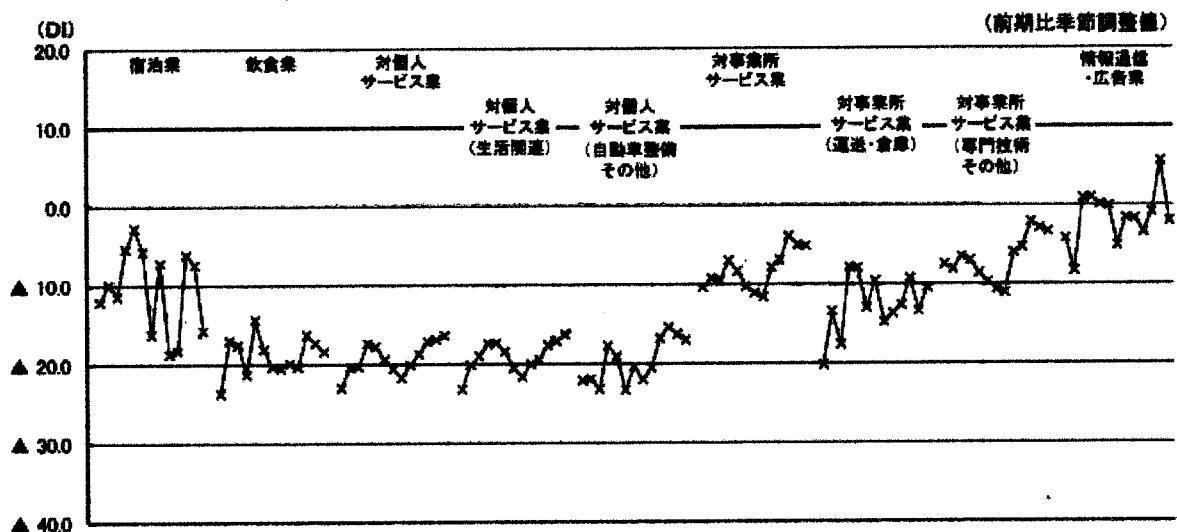
■図表1 中小企業の非製造業 産業・業種別 業況判断DIの推移
(2014年10-12月期～2017年10-12月期)



※第150回中小企業景況調査(2017年10-12月)中小機構

- ・全業種のうち、サービス業について業種別の状況を確認する。
- ・サービス業の内訳では、対事業所サービス業（運送・倉庫）で▲10.5（前期差2.9ポイント増）、対個人サービス業（生活関連）で▲16.3（前期差0.8ポイント増）とマイナス幅が縮小し、情報通信・広告業で▲2.0（前期差7.6ポイント減）とプラスからマイナスに転じた。
- ・宿泊業で▲15.8（前期差8.4ポイント減）、飲食業で▲18.4（前期差1.1ポイント減）、対個人サービス業（自動車整備その他）で▲17.0（前期差0.7ポイント減）、対事業所サービス業（専門技術その他）で▲3.3（前期差0.4ポイント減）とマイナス幅が拡大した。

図1-2 中小企業のサービス業 業種別 業況判断D1の推移
(2014年10-12月期～2017年10-12月期)



(注)「対個人サービス業（生活関連）」は、不動産業、派遣・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業等の8業種。
「対個人サービス業（自動車整備その他）」は、自動車整備業、機械等修理業。
「対事業所サービス業（運送・倉庫）」は、道路旅客運送業、道路貨物運送業、倉庫業等の5業種。
「対事業所サービス業（専門技術その他）」は、専門サービス業、技術サービス業、廃棄物処理業等の5業種。

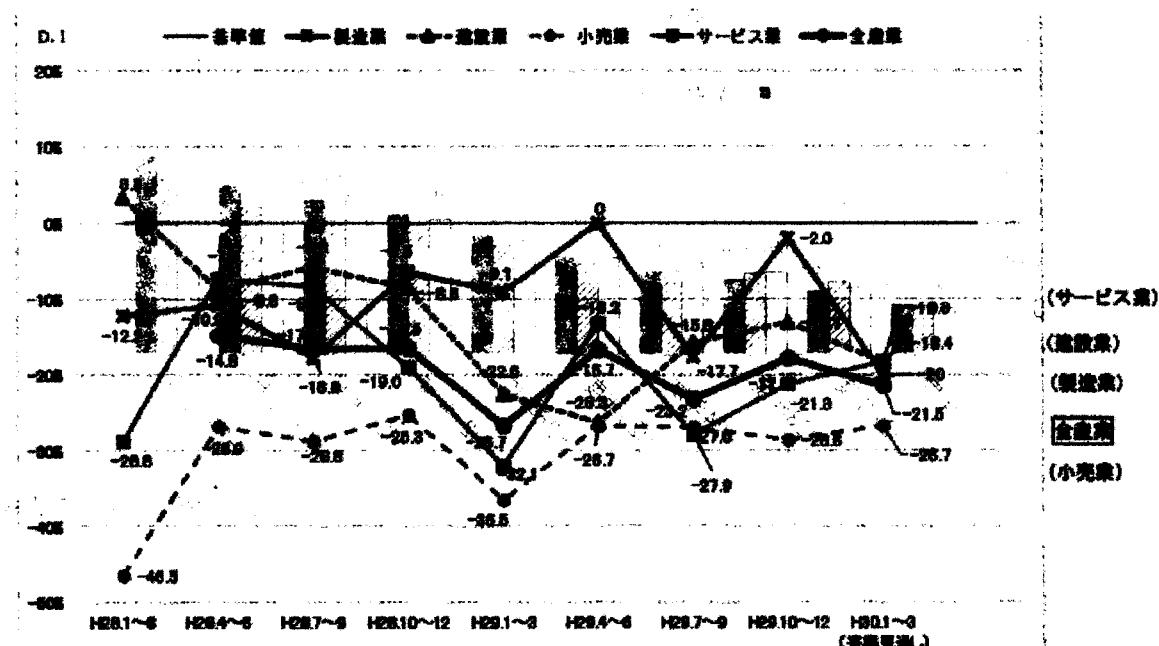
※第150回中小企業景況調査（2017年10-12月）中小機構

2. 広島県経済動向調査

広島県内の産業別の動向は、小売業以外は上昇傾向となっており、概ね回復基調となっている。

- ・広島県産業別（商工会地域のみ）の今期業況DIは、小売業は下降推移するものの、その他3業種は上昇傾向となっている。
- ・来期は製造業・建設業で下降、小売業・サービス業は上昇傾向を予測している。

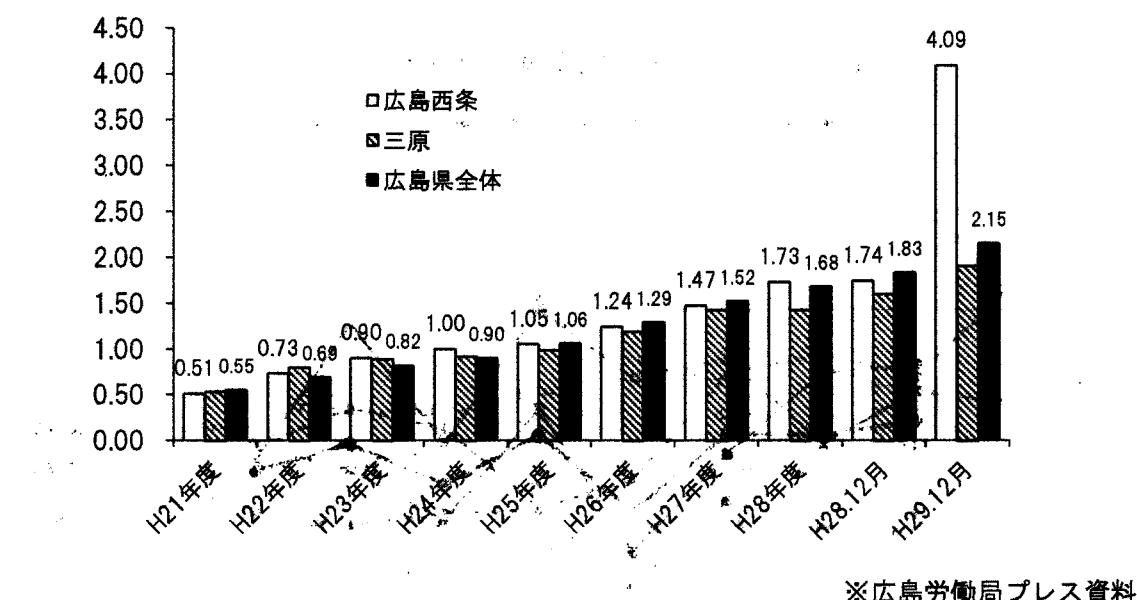
■図2-1 広島県（産業別）業況DI推移—前期比—



※中小企業景況調査報告書 第150回（平成29年12月）広島県商工会連合会

- ・広島県内の雇用情勢は、着実に改善が進んでおり、1974（昭和 49）年5月の 2.07 倍以来の 2 倍超えとなっている（2.02 倍）。
- ・東広島市内の公共職業安定所である広島西条の有効求人倍率は、高水準が続いていたが、2017（平成 29）年 12 月期の有効求人倍率は 4 倍を超え（4.09 倍）、県内や周辺市と比べても人手不足感が深刻な状態となっている。

■図 2-2 広島県内の求人倍率



3. 東広島市統計調査

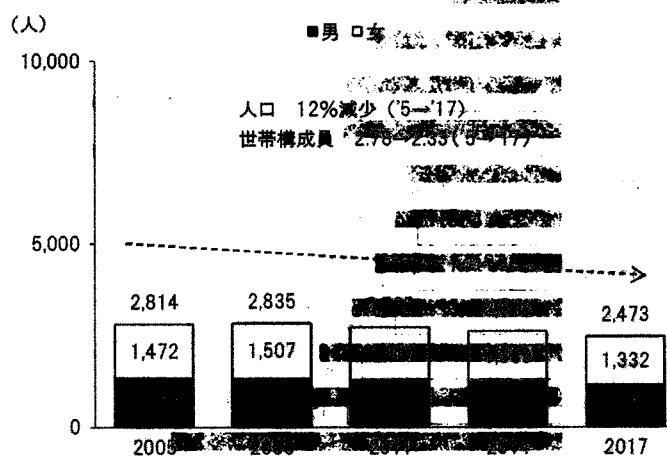
(1) 地区別人口の推移

3地区ともに人口減少。地区別では、豊栄地区の減少が大きい。

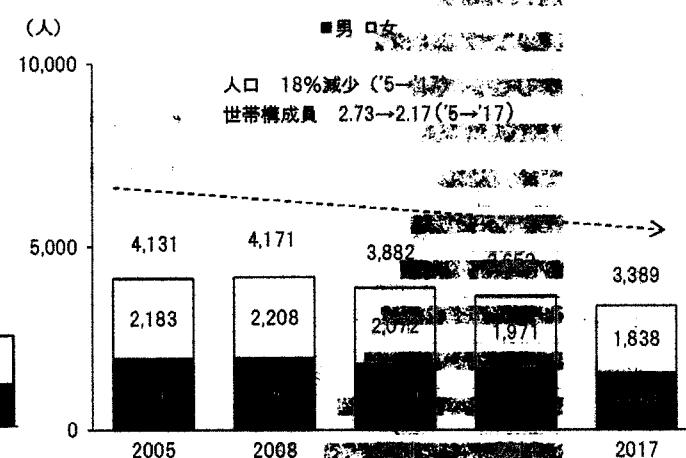
- ・3地区の人口は、2005（平成17）年から2017（平成29）年までで、1割～2割減少している。
- ・地区別では、福富地区、河内地区が1割前後の減少であるが、豊栄地区は2割近く減少し、特に減少幅が著しい。世帯数は、12年間でほぼ横ばいのため、核家族、独居老人世帯の増加などによる1世帯当たり構成員が減少していることがわかる。

■図 3-1 地区別人口の推移

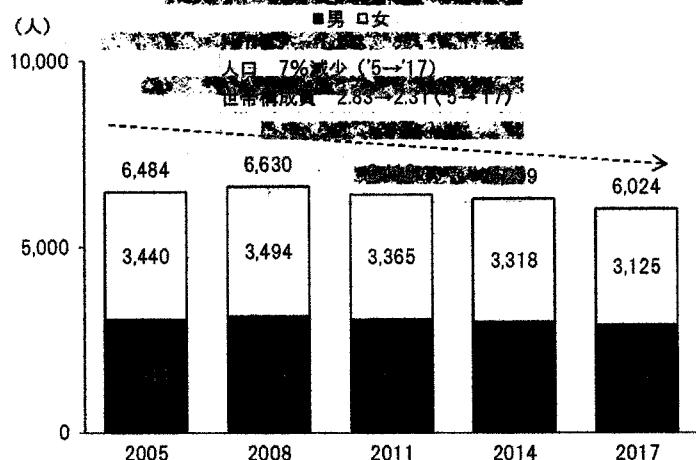
【福富】



【豊栄】



【河内】



■図 3-2 地区別世帯数

	福富	豊栄	河内
05	1,012	1,510	2,289
08	1,064	1,620	2,327
11	1,066	1,598	2,560
14	1,070	1,568	2,622
17	1,061	1,562	2,604

※住民基本台帳

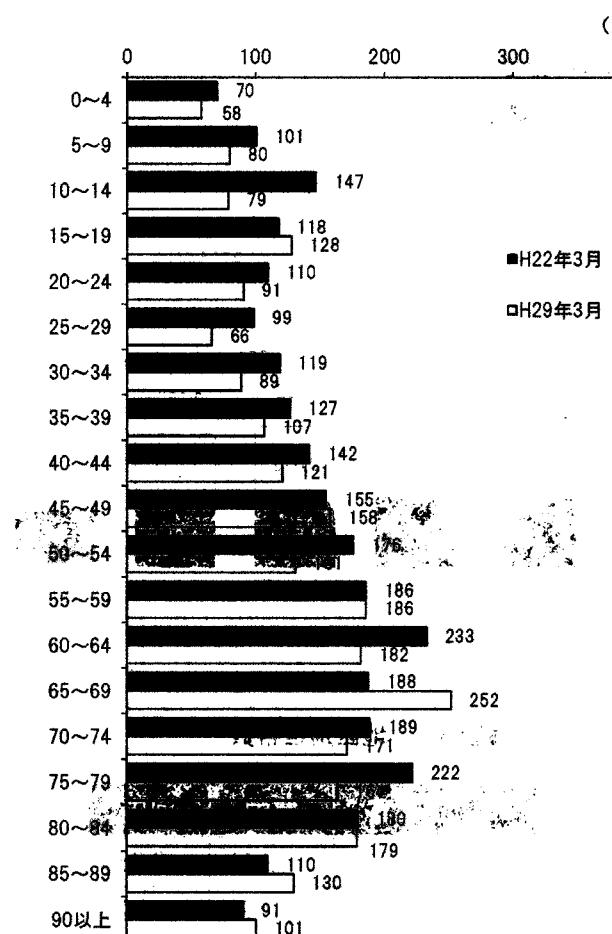
(2) 地区別の年齢区分別人口

3地区ともに少子高齢化の進展が著しい。

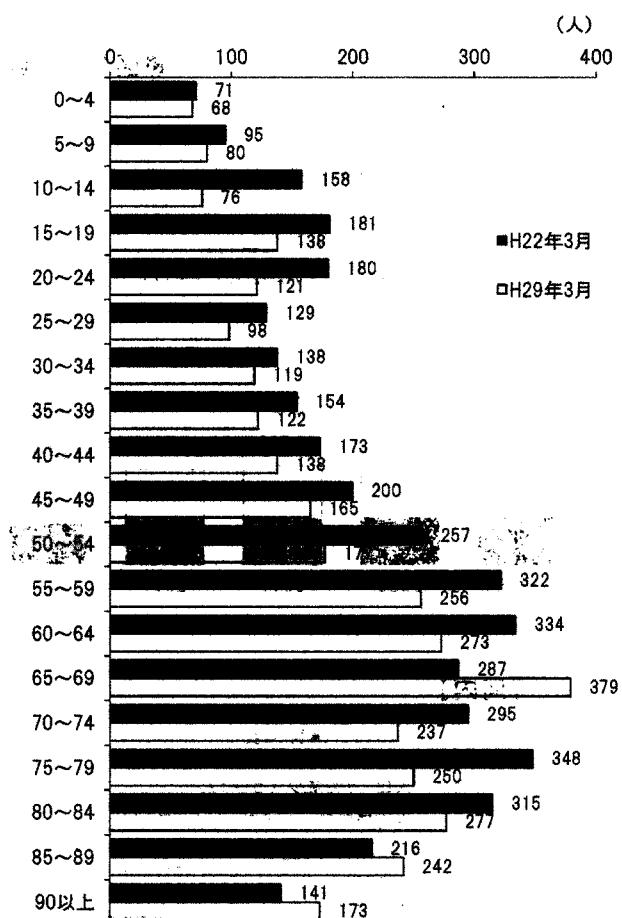
- ・3地区ともに、年齢の上昇とともに概ね人口が増加し、少子高齢化が進展している。
- ・いずれの地区も「65~69歳」の「団塊の世代」人口が増加し、就職・進学期の10代後半から20代の人口が特に少なくなっている。

■図3-3 地区別の年齢区分別人口

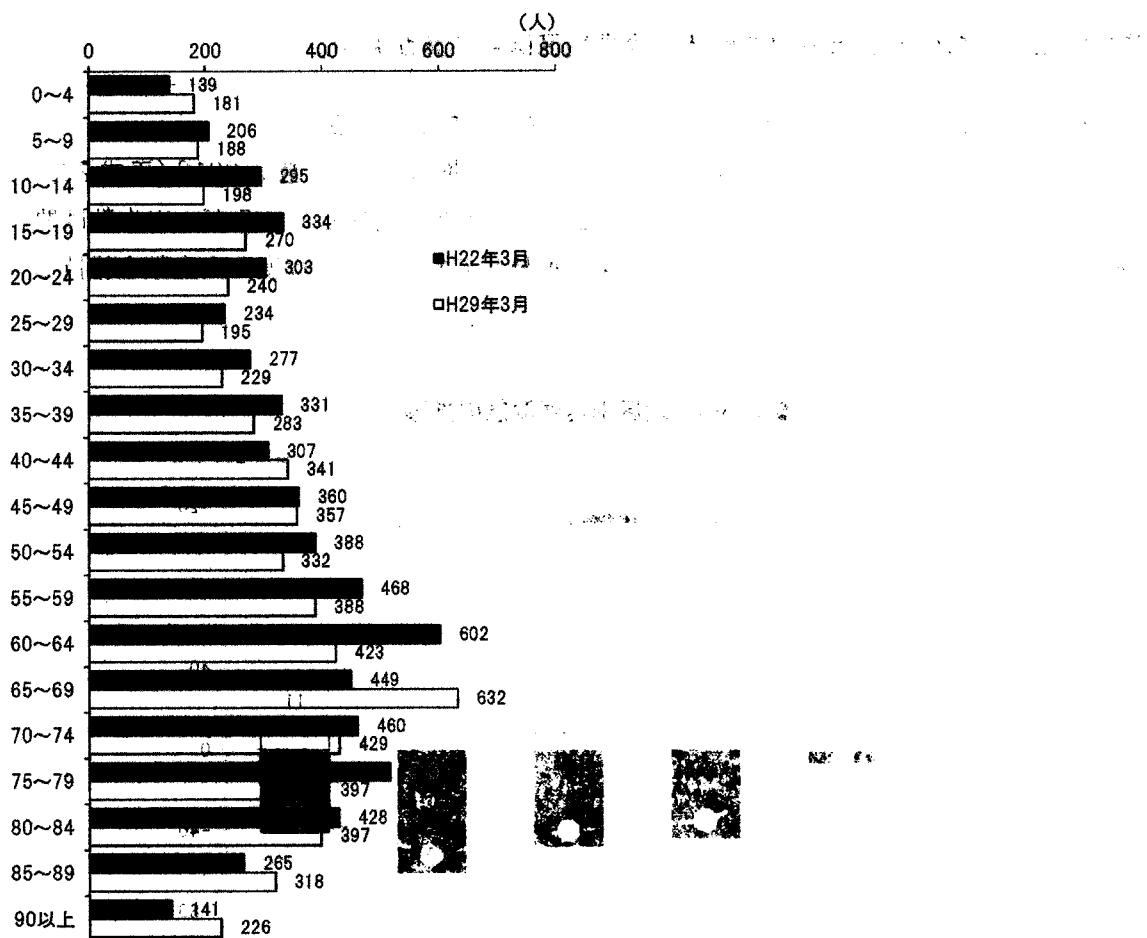
【福島】



【豊栄】



【河内】



※住民基本台帳（各年3月末）

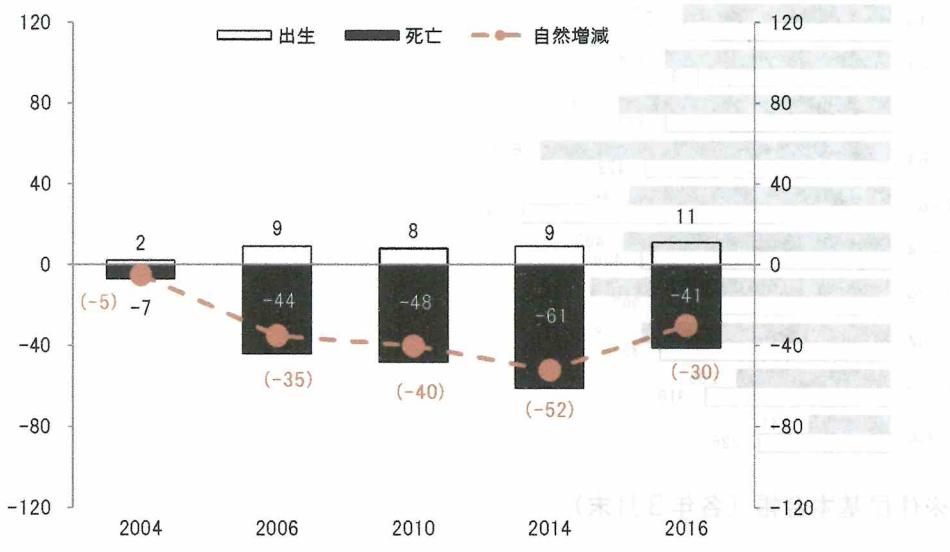
(3) 自然動態

豊栄地区、河内地区は出生数を維持。福富地区は自然減が減少。

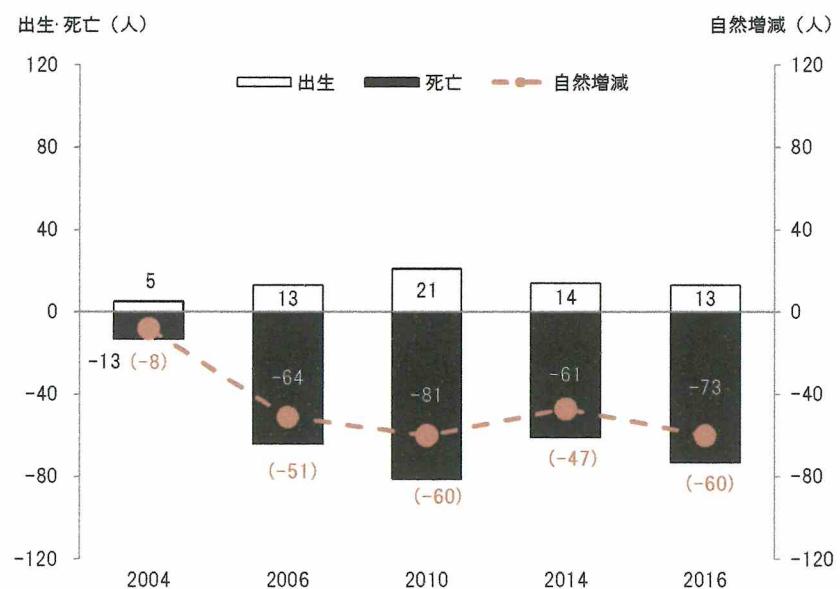
- ・3地区ともに、出生数より死亡数が多い「自然減」となっている。
- ・地区別では、福富地区は出生数が増加せず10人前後で推移し、死亡数は2016(平成28)年には、減少している。豊栄地区・河内地区は死亡者数が増加しているが、出生数は豊栄地区が10~20人、河内地区が30人前後で推移しており、ある程度の出生数を維持している。

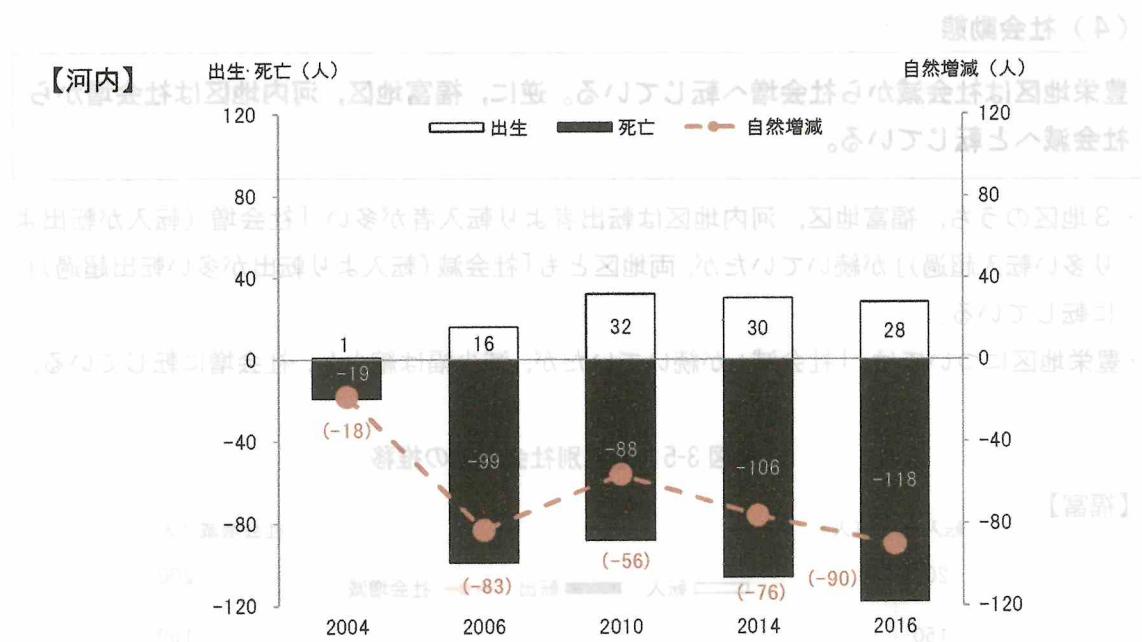
■図3-4 地区別自然動態の推移

【福富】 出生・死亡(人)

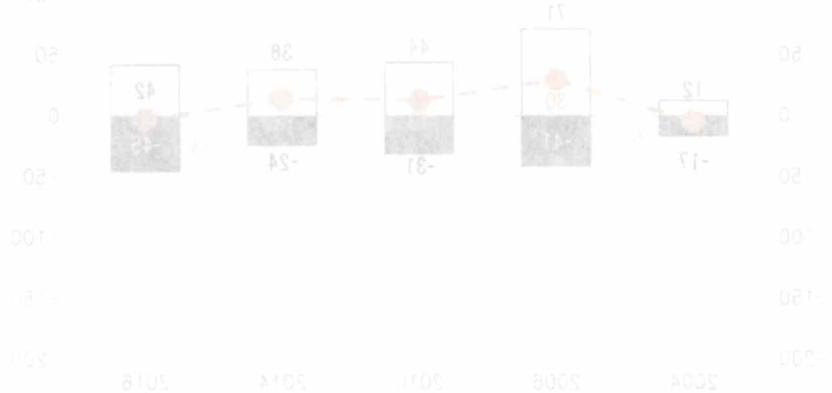


【豊栄】





※住民基本台帳、2014（平成 26）年以降は外国人を含む



【美濃】



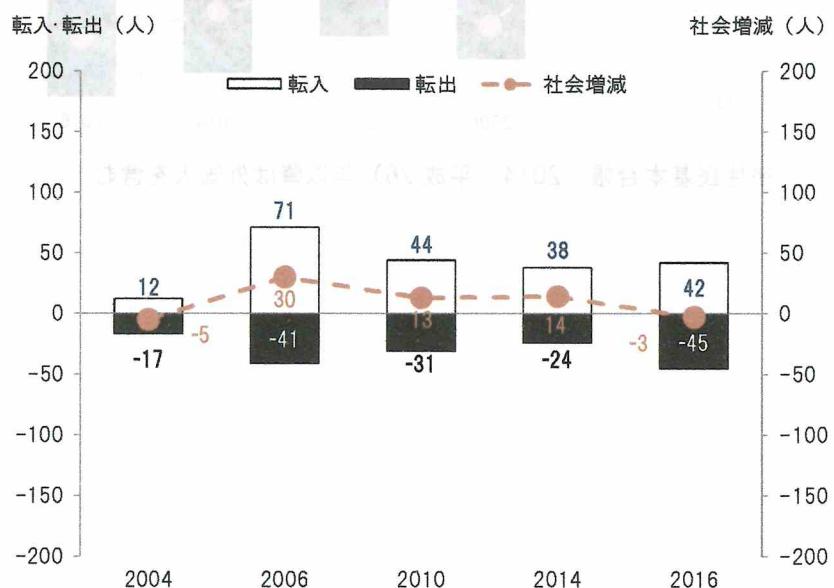
(4) 社会動態

豊栄地区は社会減から社会増へ転じている。逆に、福富地区、河内地区は社会増から社会減へと転じている。

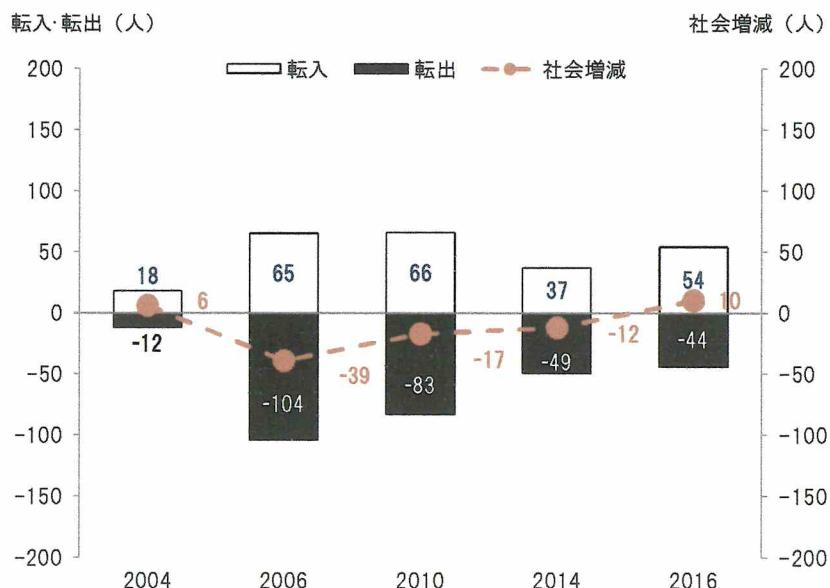
- 3地区のうち、福富地区、河内地区は転出者より転入者が多い「社会増（転入が転出よりも多い転入超過）」が続いていたが、両地区とも「社会減（転入より転出が多い転出超過）」に転じている。
- 豊栄地区については、「社会減」が続いていたが、減少幅は縮小し、社会増に転じている。

■図3-5 地区別社会動態の推移

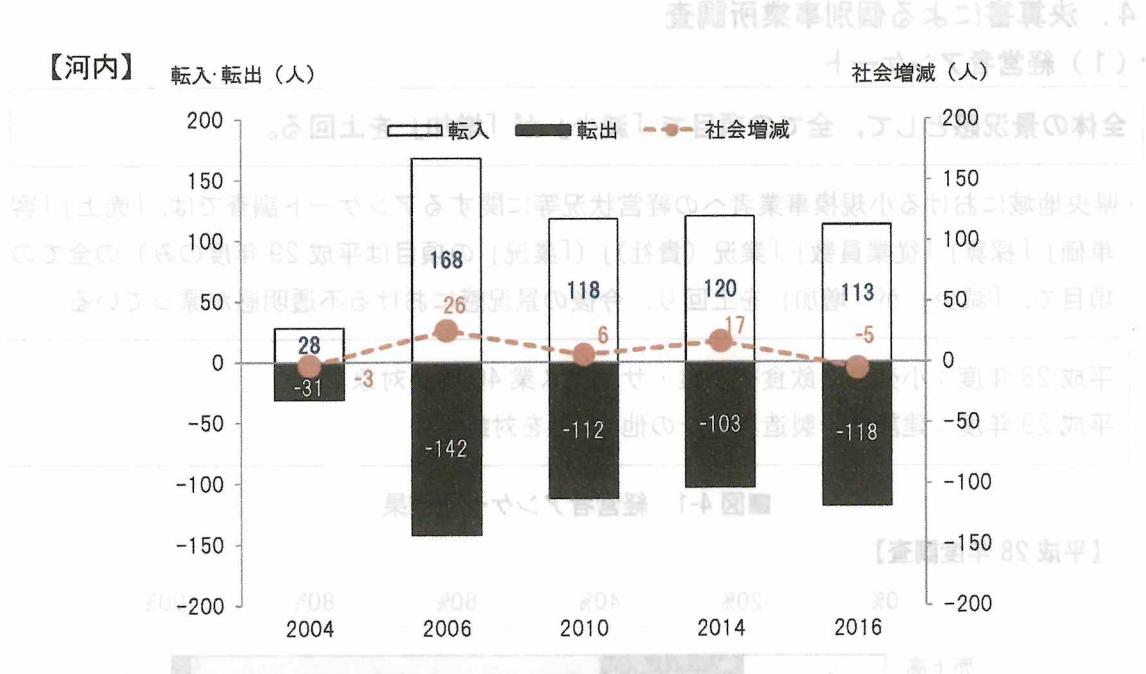
【福富】



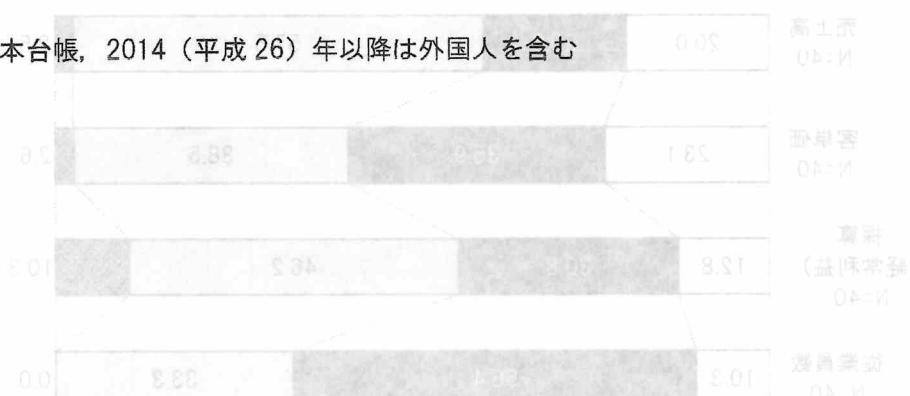
【豊栄】



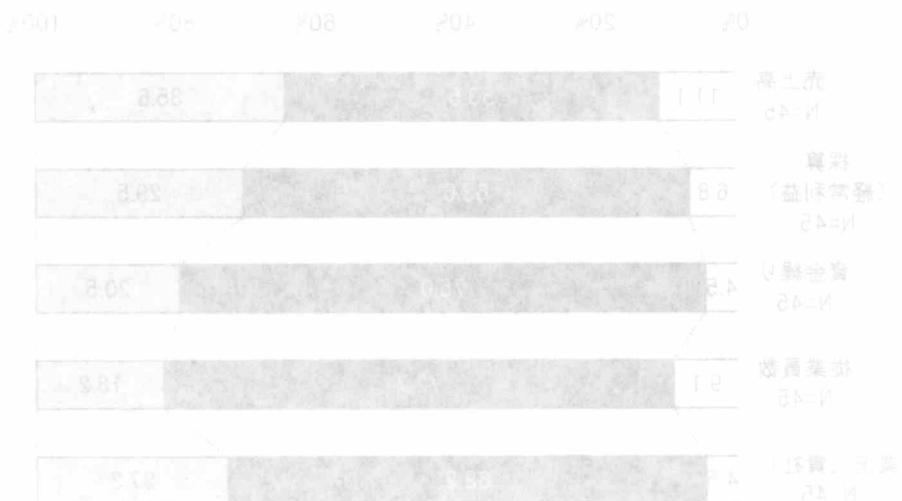
【河内】



※住民基本台帳、2014（平成 26）年以降は外国人を含む



【豊島区】



4. 決算書による個別事業所調査

(1) 経営者アンケート

全体の景況感として、全ての項目で「減少」が「増加」を上回る。

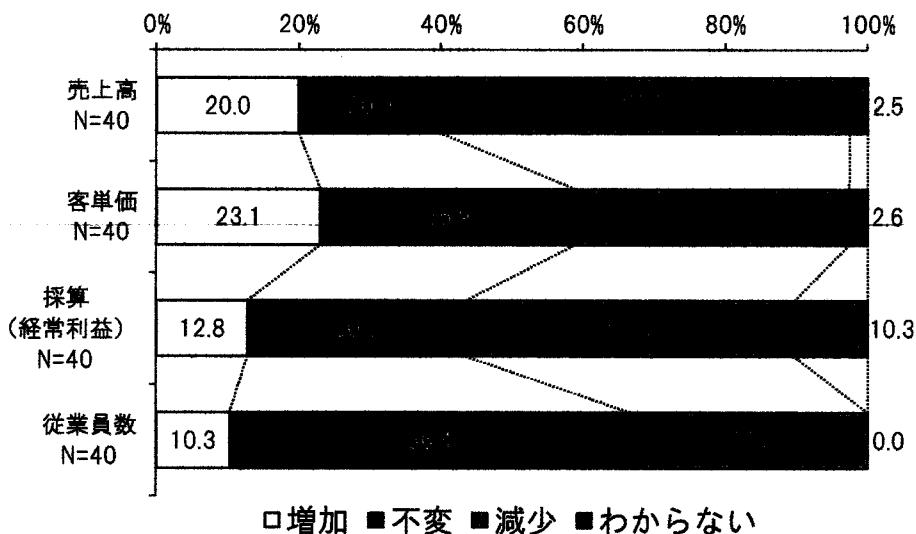
- ・県央地域における小規模事業者への経営状況等に関するアンケート調査では、「売上」「客単価」「採算」「従業員数」「業況（貴社）」（「業況」の項目は平成29年度のみ）の全ての項目で、「減少」が「増加」を上回り、今後の景況感における不透明感が漂っている。

平成28年度：小売業・飲食宿泊業・サービス業40事業者対象

平成29年度：建設業・製造業・その他業界を対象

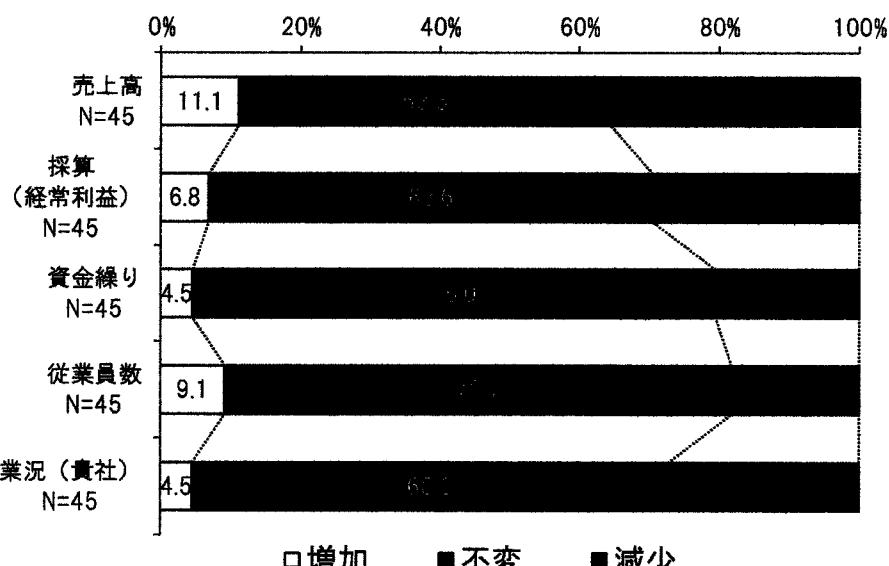
■図4-1 経営者アンケート結果

【平成28年度調査】



□増加 ■不变 ▨減少 ▨わからない

【平成29年度調査】



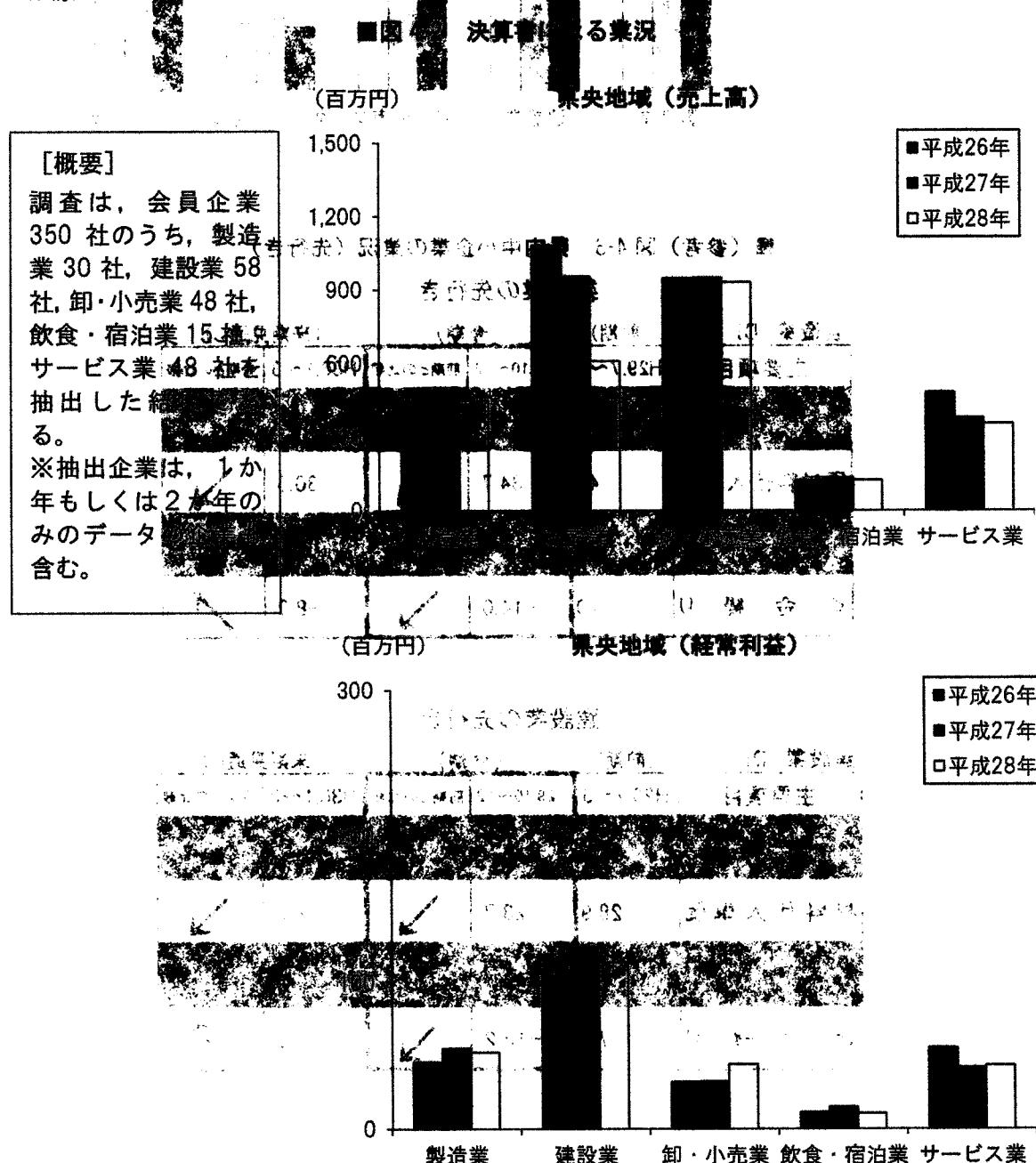
□増加 ■不变 ▨減少

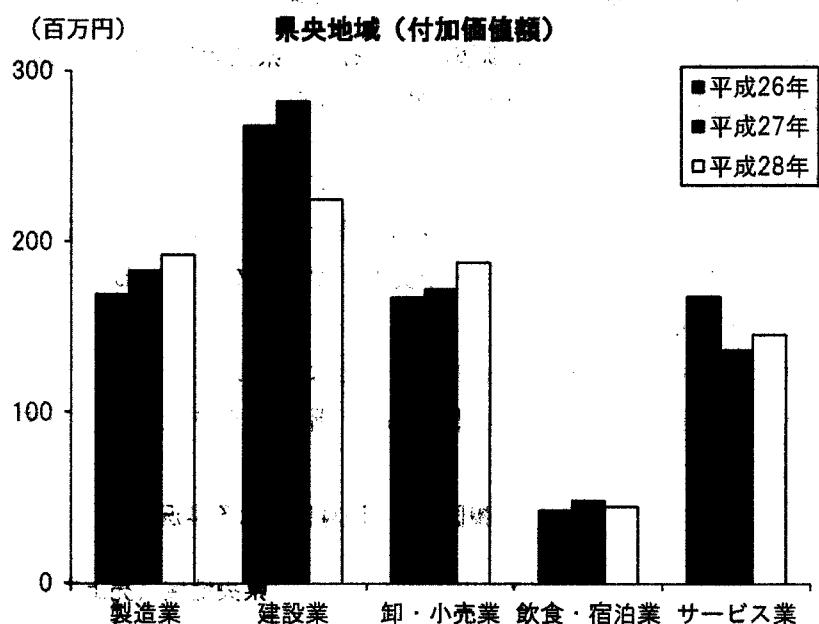
注：H29調査では選択肢に「わからない」がない

(2) 決算書による県央地域における中小企業の業況

「売上高」「経常利益」「付加価値額」とともに、県央地域全体では横ばいもしくは減少傾向となっており、景況の不透明感が漂っている。

- ・全体的に売上高は、ほぼ横ばいで推移している。
- ・項目別にみると、売上高は「建設業」、「卸・小売業」、経常利益は「建設業」、付加価値額は「製造業」、「製造業」、「卸・小売業」が多くなっている。「飲食・宿泊業」は全般的に少なくなっている。
- ・いずれの項目も横ばいあるいは減少傾向となっている。
- ・参考として島県内の概況と比較すると、堅調で県内と比べて県央地域の状況も停滞感が漂っている。





■(参考)図4-3 県内中小企業の業況(先行き)

製造業の先行き

製造業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)	
主要項目	H29.7~9	H29.10~12	前期との比較	H30.1~3 今期との比較
原材料仕入	49.0	34.7	↑	30.6 ↓
資金繰り	-10	-14.0	↓	-8.0 ↑

建設業の先行き

建設業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)	
主要項目	H29.7~9	H29.10~12	前期との比較	H30.1~3 今期との比較
材料仕入単価	28.9	23.7	↓	18.9 ↓
資金繰り	-7.9	-13.2	↓	-7.9 ↑

小売業の先行き

主要項目	(前期)販売実績(今期)生産計画(来期見通し)			
	H29.7~9	H29.10~12	前回との比較	H30.1~3 今期との比較
商品仕入単価	27	33.4	↗	27.7
資金繰り	-14.0	-29.1	↓	-29.2

サービス業の先行き

主要項目	(前期)販売実績(今期)生産計画(来期見通し)			
	H29.7~9	H29.10~12	前回との比較	H30.1~3 今期との比較
商品仕入単価	21.3	31.2	↗	31.2
資金繰り	-23.7	-27.6	↓	-13.8

※中小企業景況調査報告 平成29年12月 広島県商工会連合会

5. 県央地域における景況調査のとりまとめ

全国の中小企業（非製造業）の業況は、全体的には持ち直しの兆しがうかがえるが、業種により好調、不調が分かれている状況となっている。

一方、広島県内商工会地域における中小企業の動向は、小売業以外は上昇傾向となつておる、概ね回復基調となつておる。

このような全国・広島県の動向に対して、県央地域では、人口減少、少子高齢化が進展し、小売業の商店数も大きく減少している。人口は、毎年一定割合で減少し続け、出生数の増加も見込めないことから、県央地域全体における活力の減退化は深刻な状況であるといえる。県央地域では、社会減から社会増への転換感が漂つておるが、豊栄地区が社会減から社会増に転じ、また、福富地区や河内地区では社会減に転じたとはいえない一定数の転入が続いており、県央地域の活力回復に向け期待感を醸成させる要因になつておるといえる。

しかし、求人状況に目を向けると、広島県内は引き続き人手不足で推移しており、特に東広島市の有効求人倍率は県内でも最も高水準であり、人手不足感は深刻な状況となつておる。

今後は、地域の商店を活性化する取り組みを継続し付け、面接を知らない若住者と元気のある商店を繋げるとともに、地域で就業が見込まれる層と人手不足が深刻な地元事業所とをマッチングさせ、販売面とともに雇用面においても県央地域の事業所支援を継続させる必要がある。

6. 地域ヒアリング調査

(1) 調査概要

1) 実施内容

a. 調査目的

昨年度調査で明らかになった転入者増など地域活力が期待される要因について、市の移住モデル地域である福富町竹仁地区を対象として分析を行う。

b. 調査対象

福富町竹仁地区住民

c. 調査方法

自治協を通じた配布、回収

d. 回収数

17 件（配布は自治協を通じて行ったため、配布数は不明）

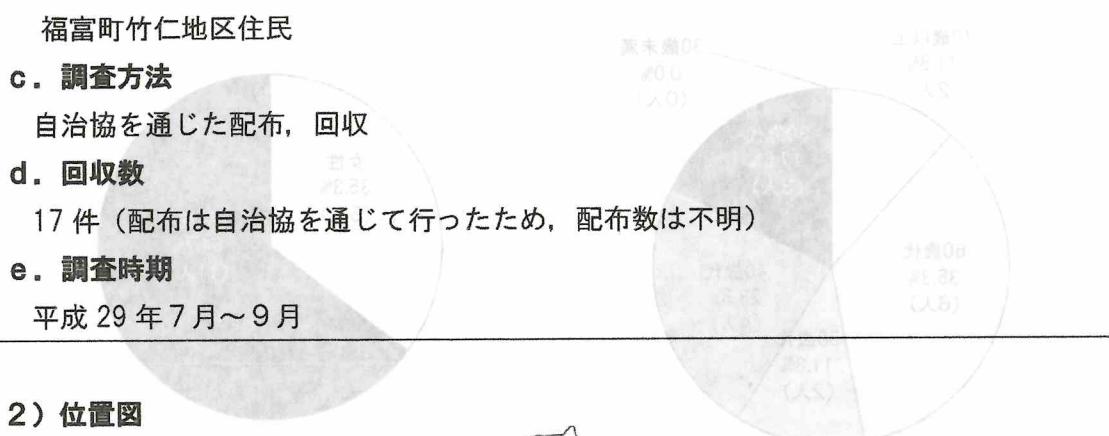
e. 調査時期

平成 29 年 7 月～9 月

果樹査定 (S)

AIJCに農自式なあ (T)

(E)n (C)眼計、輔導の式) 決定する天香はニイやにて (A)



2) 位置図

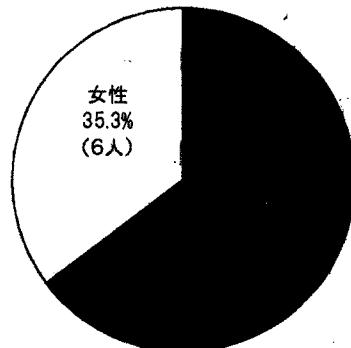
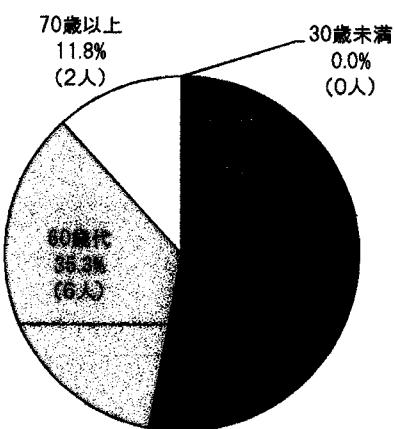


(2) 調査結果

1) あなたご自身について

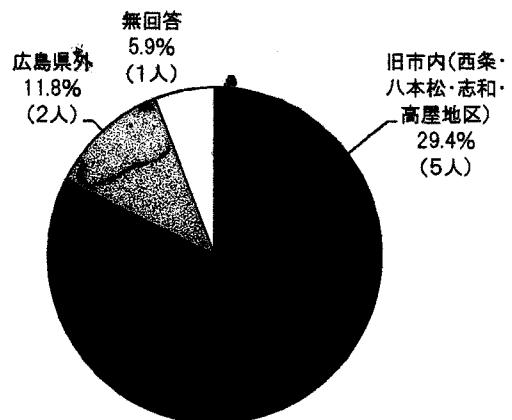
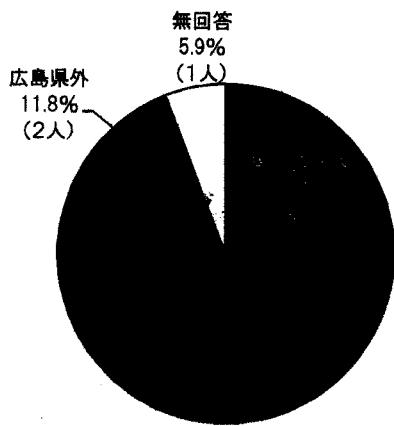
A) アンケートにお答えいただく方の年齢、性別（1つ）（n=17）

- ・「60歳代」35.3%が最も多いが、「30歳代」から「50歳代」までをあわせた「50歳代」以下は52.9%と半数を超えている。
- ・性別では、「男性」64.7%が6割を超えている。



B) 移り住む直前の居住地域をお答えください（1つ）（n=17）

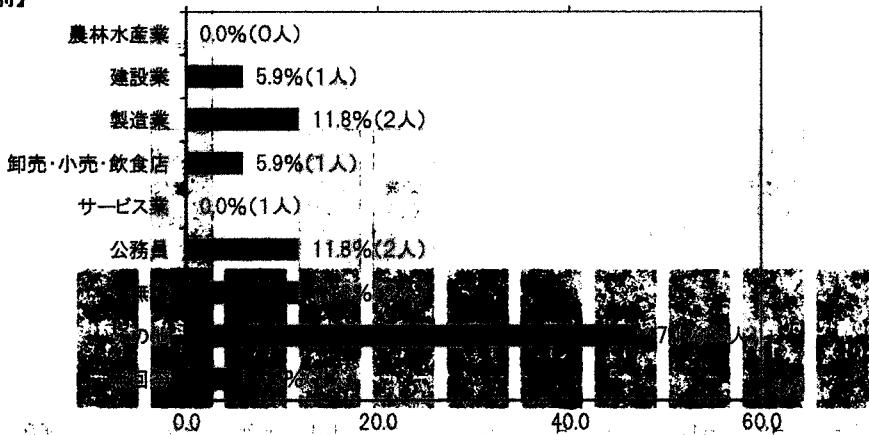
- ・直前の居住地は、「広島県内」52.9%が半数を占め最も多く、次いで「東広島市内」29.4%が3割を占めている。
- ・居住地の詳細をみると、「広島県内」は「広島市」と「呉市」のみとなっており、「東広島市」は「旧市内（西条・八本松・志和・高屋地区）」のみとなっている。



C) 移住前後の職業についてお答えください(1つ)(n=17)

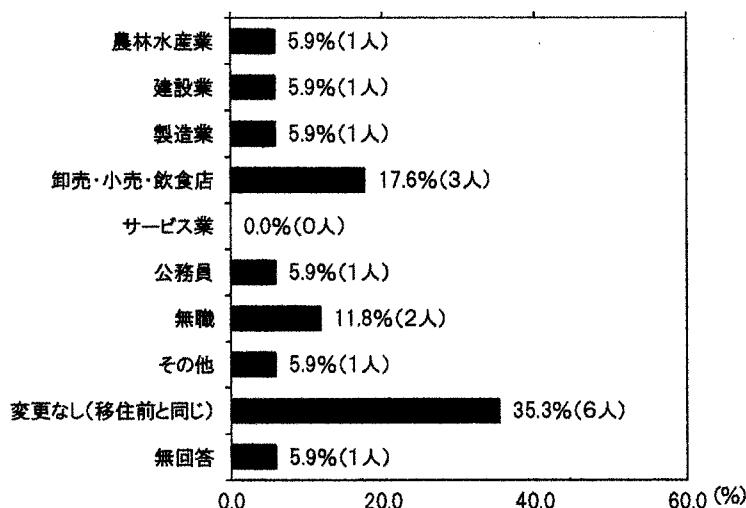
- ・移住前の職業は、「その他」47.1%が半数近くを占め、次いで「製造業」、「公務員」、「無職」が続いている。
- ・移住後の職業では、移住前と異なり「卸売・小売・飲食店」17.6%が最も多くなっている。「変更なし(移住前と同じ)」との回答が全体の3分の1を占めている。

【移住前】



主な職業		
事務	交通事故審査員	販売員
ヨガインストラクター	主夫	運送業
石材業	鉱山業	機械操縦士
団体職員		土木工事監理員

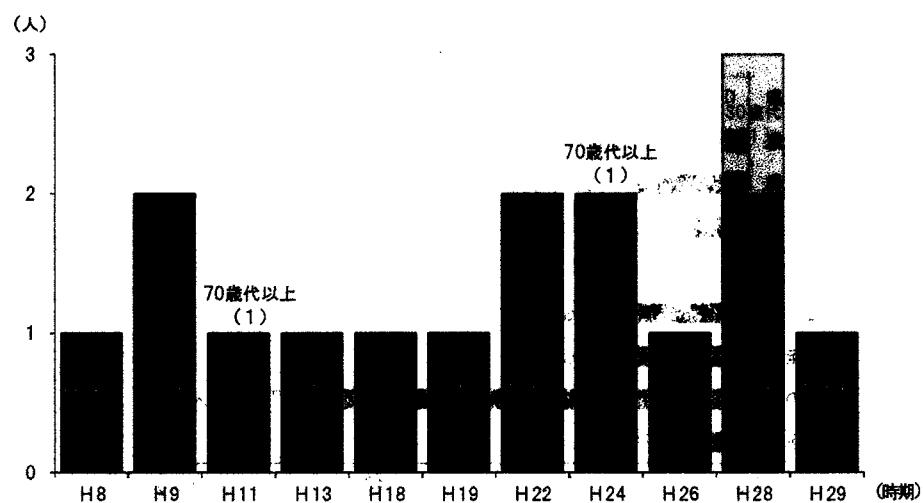
【移住後】



2) 竹仁地区への移住について

①竹仁地区への移り住んだ時期について教えてください/おおよその時期 (n=17)

- ・10年以上前までは、「60歳代」が中心であったが、10年ほど前から「30歳代」、「40歳代」が増えている。

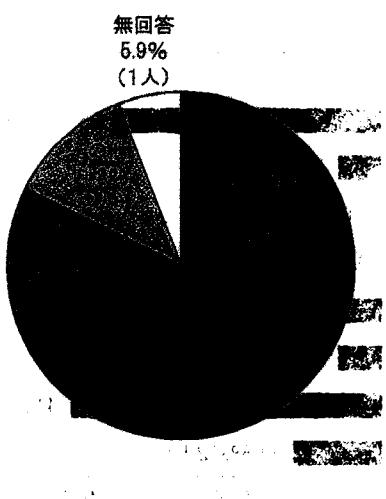


注：各年の時期は以下のとおり

- 平成8年3月頃
- 平成9年10月・12月頃
- 平成11年3月頃
- 平成13年時期不明
- 平成18年3月頃
- 平成19年4月頃
- 平成22年4月・8月頃
- 平成24年2月頃(2)
- 平成26年10月頃
- 平成28年4月・10月・11月頃
- 平成29年8月頃

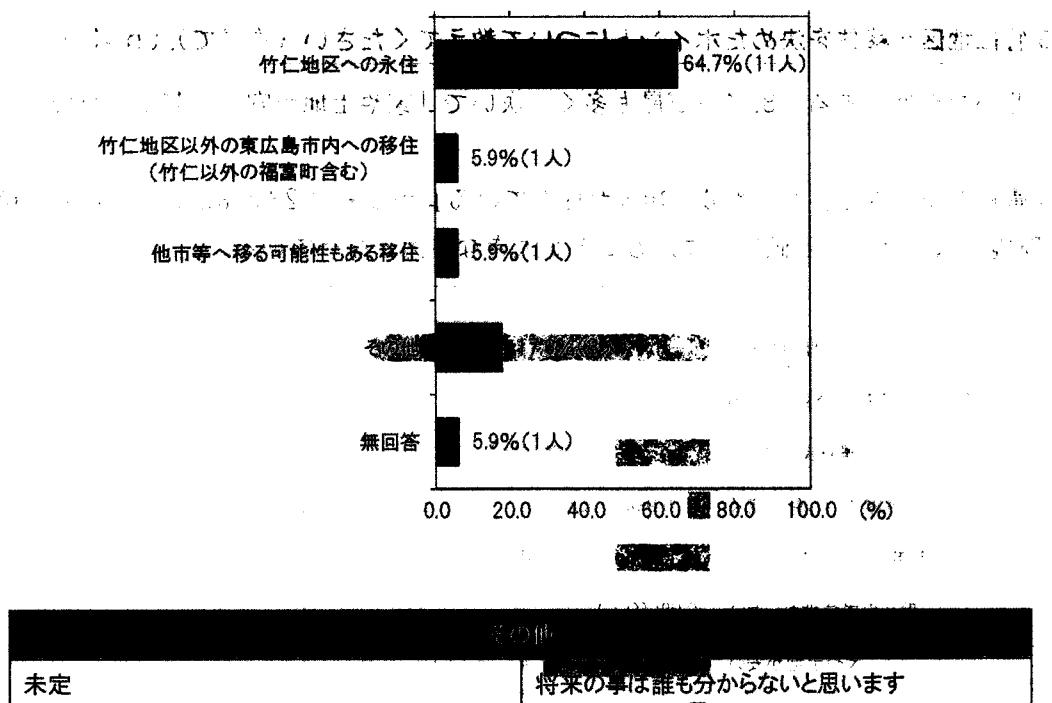
②竹仁地区へ移り住んだときの家族構成について教えてください(1つ)(n=17)

- ・「夫婦のみ」と「夫婦と子ども」が35.3%で最も多く、「単身」と「その他」が11.8%となっている。



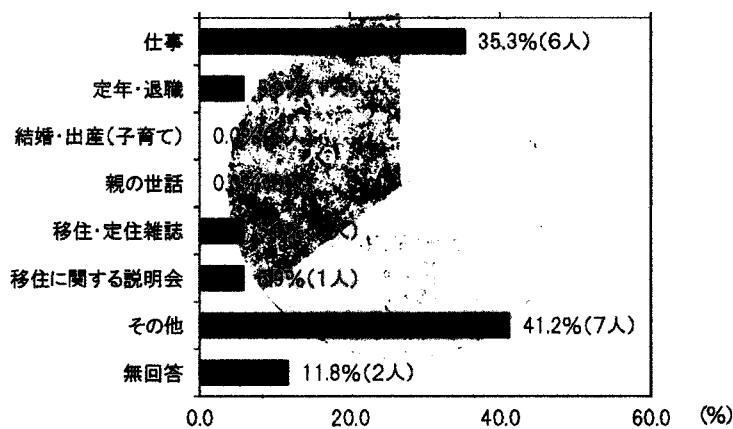
③今後の移住形態について教えてください(1つ)(n=17)

- ・「竹仁地区への永住」が最も多く64.7%である。
・「竹仁地区以外の東広島市内への移住」と「他市等へ移る可能性もある移住」がともに5.9%で少なくなっている。



④竹仁地区へ移り住むきっかけについて教えてください（すべて）（n=17）

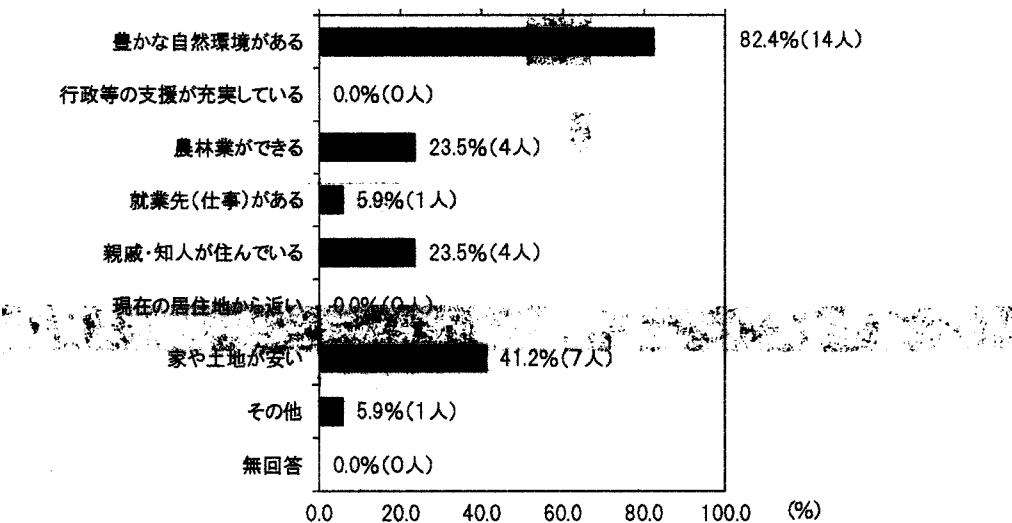
- ・「その他」41.2%が最も多く、次いで「仕事」35.3%が続いている。
- ・その他では「定年・退職」と「移住・定住雑誌」、「移住に関する説明会」がいずれも5.9%となっている。



竹仁地区へ移り住むきっかけについて教えてください（すべて）（n=17）	
知人より	広い土地が手に入ったから
田舎で暮らしたい。水がきれい	子どもが広島市に就職したから

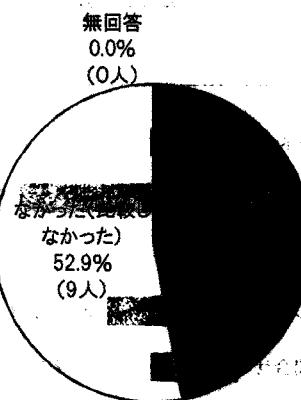
⑤竹仁地区へ移住を決めたポイントについて教えてください（すべて）（n=17）

- ・「豊かな自然がある」82.4%が最も多く、次いで「家や土地が安い」41.2%が続いている。
- ・「農林業ができる」と「親戚・知人が住んでいる」がともに23.5%となっており、自然環境、家や土地が安価に手に入ることが大きな魅力となっている。



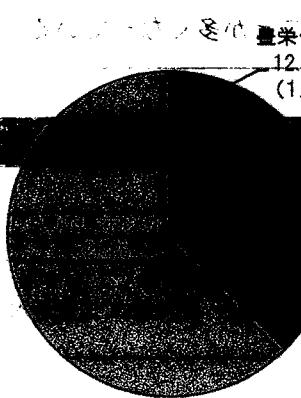
⑥移住にあたり、竹仁地区を検討するうえで比較をした地域はありますか（1つ）（n=17）

- ・「なかった（比較しなかった）」52.9%，「あつた（比較した）」47.1%がほぼ半々となっている。



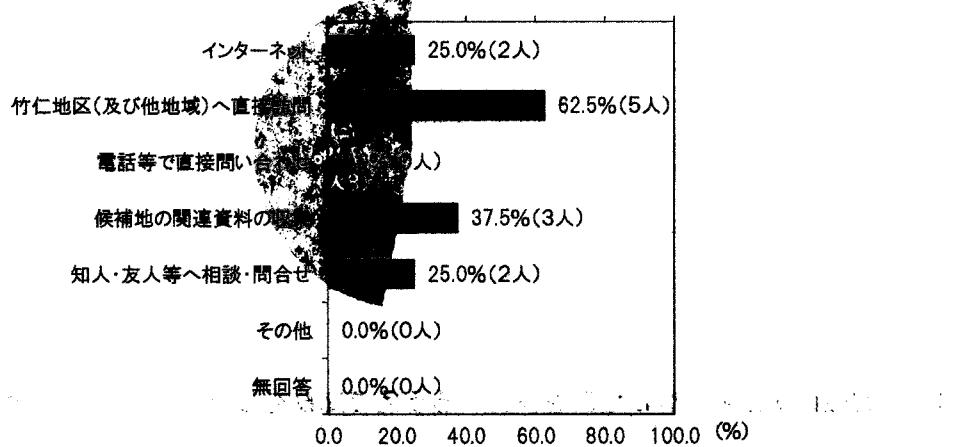
⑥-1 移住にあたり、竹仁地区を検討するうえで比較をした地域（1つ）（n=8）

- ・「東広島市以外」62.5%が最も多く、次いで「旧市内（西条・八本松・志和・高屋）」25.0%，「豊栄・河内」12.5%が続いている。



⑦ ⑥で「1. あった（比較した）」と回答した方にお伺いします。比較した際に、どのようにして情報を入手しましたか（すべて）（n=8）

- ・「竹仁地区（及び他地域）へ直接訪問」62.5%が最も多く、次いで「候補地の関連資料の収集」37.5%，「インターネット」・「知人・友人等へ相談・問合せ」25.0%が続いている。



⑧移住を検討する際に不足していた点について教えてください（具体的に）

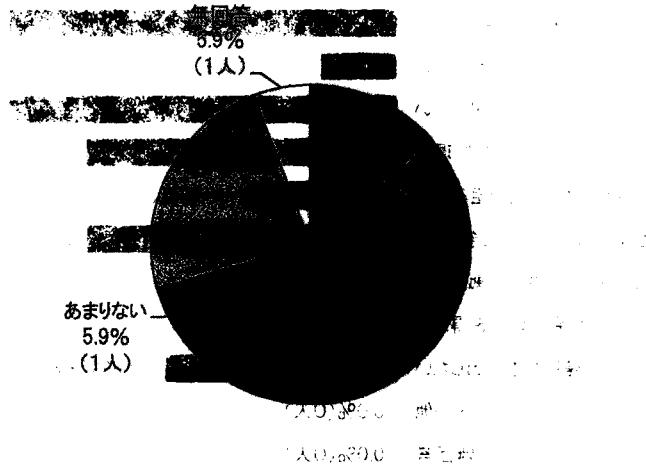
- ・事前情報の収集不足に関することが多くなっている。

項目	年齢	性別
冬の寒さを理解していなかった	30歳代	女性
老後の生活をきっちりと検証していなかった（準備をしっかりととする）	60歳代	男性
家、建物に関する事。・住んでみたら、玄関の鍵がなくて困った。・浄化槽に関して、単独槽と合併槽の違いを知らなかった。・井戸水に（生活水）浮遊物が混じっていて、すぐには使えない状況	40歳代	女性
地域の決まりごと等	30歳代	男性
空き家情報	60歳代	女性
近郊に病院、スーパー等の有無をよく調査しなかった・福富町が海に近いか、遠いか全く調査しまなかった・福富町がJRや公園バスの利便性も調査しなかった	70歳以上	男性
特になし	40歳代	男性
当時は地域の情報や窓口がなかった	40歳代	男性

3) 創業意識について

①創業に興味関心がありますか（1つ）（n=17）

・「とてもある」29.4%と「少しある」35.3%を合わせた興味関心を持っている人は6割以上となっている。

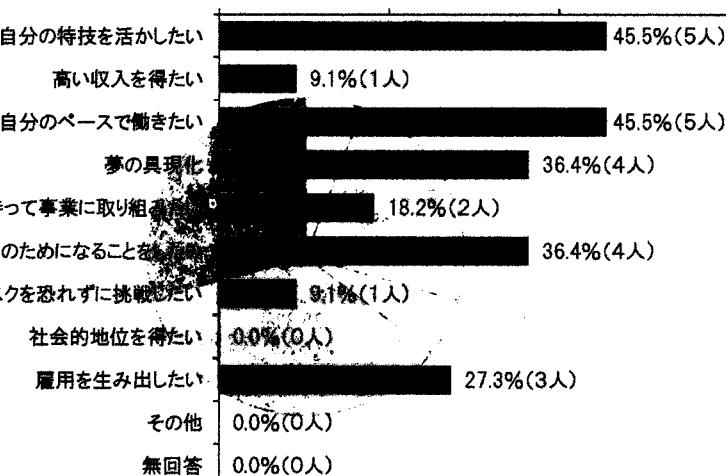


【参考】

性別	年齢層	会社員	主婦	学生	その他	合計
男	10代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	10代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	20代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	20代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	30代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	30代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	40代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	40代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	50代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	50代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	60代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	60代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	70代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	70代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	80代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	80代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	90代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	90代	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合計		5	0	1	1	6
		100.0	0.0	20.0	20.0	60.0
						0.0

② ①で「1. とてもある」「2. 少しある」と回答した方に伺いします。その理由を教えてください（すべて）（n=11）

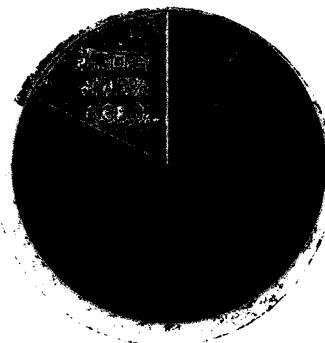
・「自分の特技を活かしたい」と「自分のペースで働きたい」が45.5%で最も多く、次いで「夢の具現化」と「社会や地域のためになることしたい」が36.4%で続いている。



	とてもある	少しある	どちらでもない									
合計	11	5	1	5	4	2	4	1	0	3	0	0
	100.0	45.5	9.1	45.5	36.4	18.2	36.4	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0
創業するつもりである	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
条件が整えば創業したい	3	2	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
創業をなんとなくイメージしている	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既に創業している	2	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	0
	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
創業したいとは思わない	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

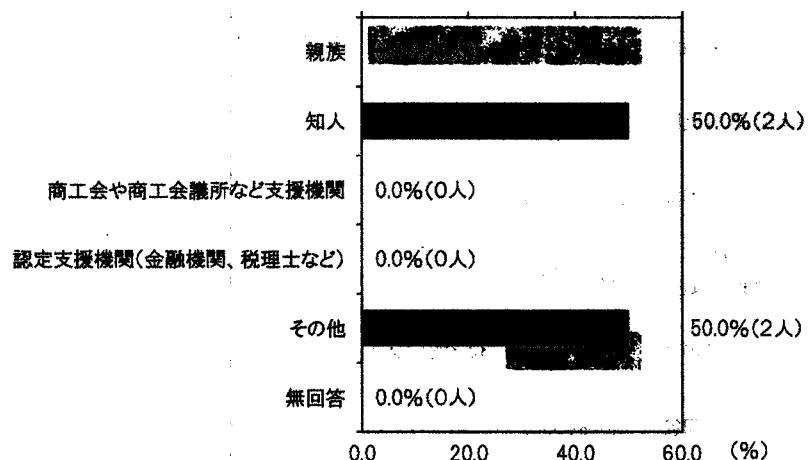
③創業に関して相談をした経験はありますか(1つ) (n=17)

・「ない」が 58.8%, 「ある」が 23.5%となっている。



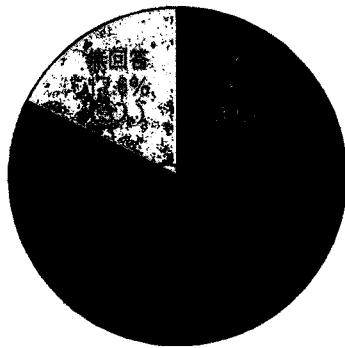
④③で「1. ある」と回答した方に伺います。相談相手の方を教えてください(すべて)
(n=4)

・「知人」と「その他」のみとなっている。



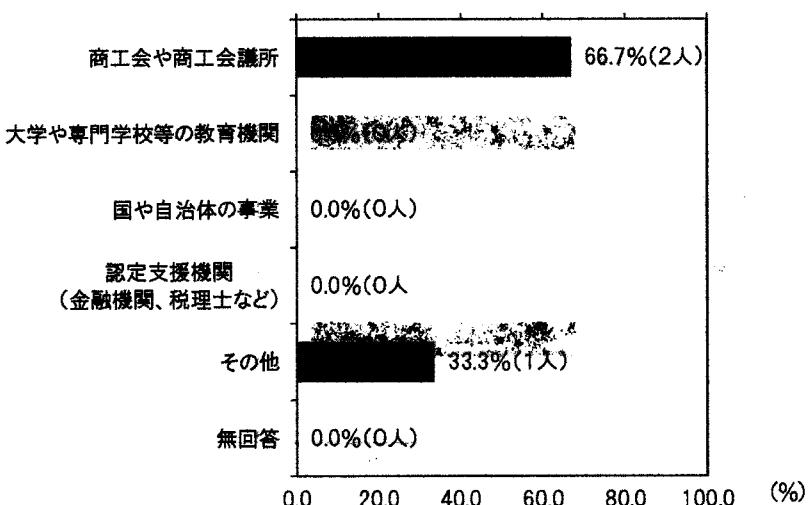
⑤創業に関するセミナー・イベントへの参加経験はありますか（1つ）（n=17）

- ・「ない」 64.7%が最も多い、「ある」が17.6%となっている。



⑥ ⑤で「1. ある」と回答した方に伺います。どこで参加しましたか（すべて）（n=3）

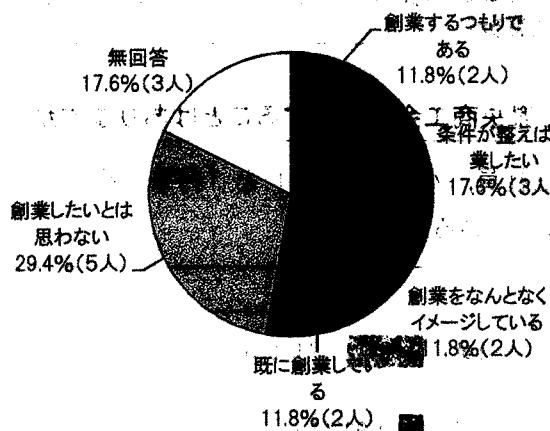
- ・「商工会や商工会議所」 66.7%が最も多い、次いで「その他」 33.3%が続いている。
・その他では「JA」という回答があがっている。



⑦将来、創業してみたい、または、創業する可能性があると思いますか(1つ) (n=17)

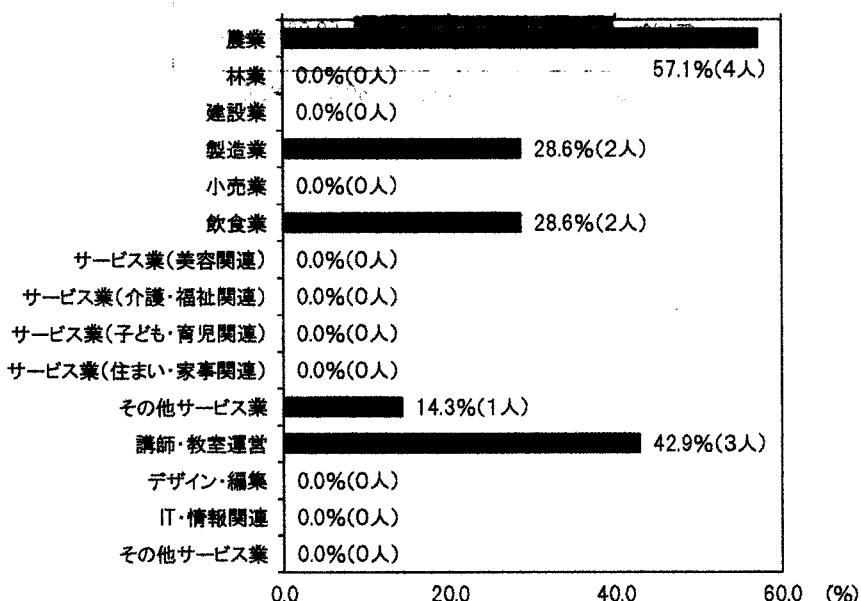
「既に創業している」が最も多く、次いで「創業するつもりである」と「創業したい」となっている。

- ・「既に創業している」が 11.8%、「創業したいとは思わない」が 29.4%となっている。



⑧ ⑦で「1. 創業するつもりである」～「3. 創業をなんとなくイメージしている」と回答した方に伺います。将来、創業したい事業はどのような分野ですか(すべて)(n=7)

- ・「農業」 57.1%が最も多く、次いで「講師・教室運営」 42.9%，「製造業」 28.6%，「飲食業」 28.6%が続いている。

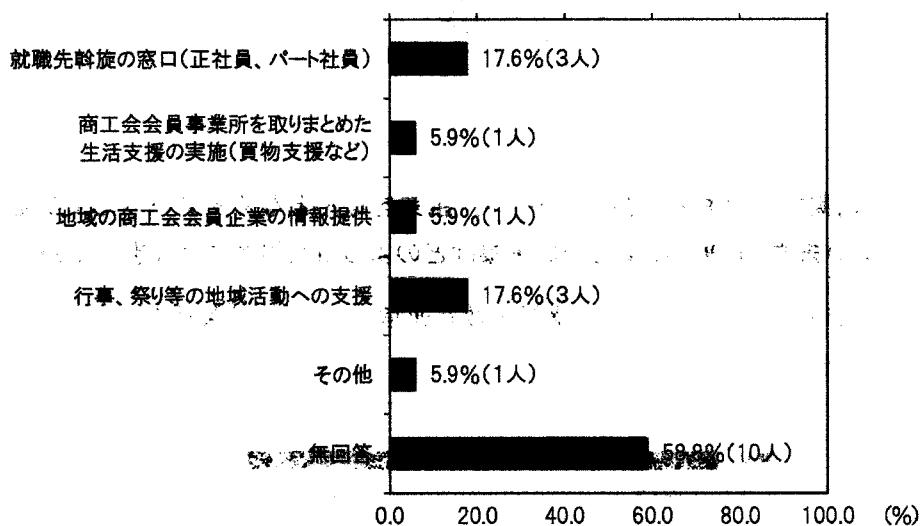


⑨ あつたらよいと思う創業に関する事業支援等を自由にご記入ください (n=17)

時期	年齢	性別
公的機関との連携	30歳代	女性
各個人の趣味を楽しみながら仕事化していければ良い	60歳代	男性
今、各地で過疎化が進んでいる。特に農業や林業では後継者が不足していると思われる。農業でも個人対応ではなく、例えば団体等を作り、その団体で地域のものを守ることができればと考える。農業機械の稼働率の悪さはひどいと思う。高価な機械なので個人で持つより、団体で提供できたらと思うが。	70歳以上	男性

⑩地元の商工会として、県央商工会に連携することはありますか。(すべて) (n=17)

- 「就職先斡旋の窓口（正社員、パート社員）」と「行事、祭り等の地域活動への支援」が 17.6%で最も多くなっている。



7. 地域ヒアリング調査のとりまとめ

(1) アンケート結果（移住について）

- ・竹仁地区への移住者は、30代・40代の若い層が増えており、永住希望が多い。
- ・竹仁地区への移住者は、10年以上前は60代以上の定年後の移住が大半を占めていたが、ここ10年では30~40代の若い世代の移住が増加している。
- ・また、竹仁地区への永住を希望する人が6割を超える。
- ・竹仁地区への移住では、豊かな自然や広い土地、農業ができるなどが大きな魅力となっている。

(2) アンケート結果（創業意識について）

- 創業意識は比較的高く、自分のペースでの仕事や特技を活かした仕事を希望。
- ・創業意識は比較的高く、「自分のペースで働きたかったり自分の特技を活かしたい」となどがその理由としてあげている。
 - ・そのため、創業分野では農業や講師、教室運営が多くなっている。

（3）地元農業者による地域活性化活動

地元農業者の地域活性化活動として、主に「竹仁農業活性化委員会」が開催される。この委員会は、竹仁地区の農業者による組織で、農業技術の交流や情報交換、農業政策の意見交換などを目的としている。また、地域活性化のためのイベントやセミナーを開催することもある。

地元農業者の地域活性化活動として、主に「竹仁農業活性化委員会」が開催される。この委員会は、竹仁地区の農業者による組織で、農業技術の交流や情報交換、農業政策の意見交換などを目的としている。また、地域活性化のためのイベントやセミナーを開催することもある。

8. 次年度へ向けて

(1) 県央地域における景況調査結果より

- ・全国、広島県の景況は一部持ち直しや回復基調となっているのに対して、県央地域では今後の景況感における不透明感が高まっている。広島県内、東広島市での有効求人倍率は依然として高い水準で推移しており、県央地域においても景況の停滞感とともに人手不足感が増している。

県央地域における事業所の現状把握を見る化する

- ・このような状況の中、各事業所に対してどのような支援が必要か的確に把握するために、事業所への意識調査実施を検討したい。この意識調査では、各事業所の現状値と目指すべき位置（目標）をポジショニング化（「見える化」）し、指導側がそれらを適確に把握・共有できるようになることができると考える。

県央地域における事業所の雇用の確保・新規事業の可能性を支援する

- ・また、地域の人手不足感に対して、地域住民を対象としたアンケート調査を実施したい。地域住民への調査により、地域への就業に対する潜在需要を把握し、今後、地元事業所の雇用確保につながる施策の展開を検討することができると考える。さらに、このアンケートの中で、地域でのお困りごとの掘り起しを行い、今後、事業所の創業や新規事業立ち上げの祭に、方向性を検討する上で参考として提供できる資料を準備したい。

(2) 地域ヒアリング調査結果より

創業に関する相談窓口等を開設し、創業意識の醸成を支援。

- ・今回の竹仁地区でのアンケート調査では、移住者の創業意識の高さを把握できた。福富町内には、竹仁地区以外に、上戸野地区、久芳地区がある。これらの地区にも竹仁地区同様に移住者があり、その中には創業意識が比較的高い層がある程度存在することが推測される。
- ・このため福富町内だけでなく移住者が見込まれる豊栄町や河内町も対象として、相談窓口を開設することで、創業意識の醸成を支援し、創業を後押しする取組を進めが必要と考える。次年度は、広島県央商工会内に相談窓口を開設し、気軽に参加できる相談会の開催を検討したい。

